

広報

こだま

2019

Vol.34

【栗田病院 広報誌】

第1回 有朋会職員総会 入社式・新入職員紹介 フォーカス くりた人

精神保健福祉士 蛭田良一

広報散歩

小規模多機能ホーム
認知症グループホーム



有朋会・理念 ～私達の求める姿～

私たちの使命は、患者様、利用者様、ご家族様、地域連携機関、地域住民、有朋会職員と
いったあらゆる方々の「こころ」に、温かな（ホットな）灯りをともすこと、笑顔を増やし続ける
ことです。その使命を果たすことで、以下3つの姿を実現します。

1. 医療・介護・福祉を統合した高品質のサービスを設計・開発し提供し続けている。
2. スタッフみなが有朋会の一員であることに胸を張っており、患者様、利用者様、ご家族様に
質の高いサービスを提供している。
3. 働きたい・学びたいと希望する方が絶えることなく集まってくる。



医療法人社団 有朋会
栗田病院

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505
TEL: 029-298-0175 Mail: yuhokai@yuhokai-kuritah.com
<http://www.yuhokai-kuritah.com/>

第1回 有朋会職員総会

3月12日(火)、那珂市総合センターらぼーる(那珂市古徳)にて初めての試みとなる職員総会が開催され、約200名の職員が参加しました。

プログラム		プレゼンター
職員総会開会		
1. 有朋会2019年度宣言		理事長 栗田
2. 有朋会2019年度事業方針		院長 安部
3. 2019年度事業計画について		
i) 地域のヘルスケア・地域生活支援事業・事務部門		執行役員 樋山
ii) 病院部門		執行役員 綿引
iii) 介護事業部門・メンタルヘルス事業		執行役員 進藤
休憩		
モラルサーベイ結果報告		執行役員 樋山
4. 四画面思考チーム2019年度宣言		
i) 精神科入院の治療・支援チーム		病棟長 河井
ii) 認知症入院の治療・支援チーム		病棟長 小田部
iii) 精神障害者の在宅支援チーム		部長 高橋
iv) 窓口・初期支援チーム		部長 荻谷
v) 気分障害・神経症圏患者の支援チーム		課長 中田
vi) 認知症患者の在宅支援チーム		部長 江幡
5. 有朋会理念賞表彰		
i) 部署チーム部門 理事長賞		理事長 栗田
ii) 個人部門 院長賞		院長 安部
6. 職員代表者選出		人事課
7. 全体写真撮影		
職員総会閉会		

冒頭では、理事長より「有朋会2019年度宣言」として、2019年度の有朋会のビジョンや中長期計画について説明がありました。法人の進むべき方向性を職員全員で共有する機会となりました。その後、院長より「有朋会2019年度事業方針」として、2018年度の有朋会の事業活動の振り返りや精神科の医療環境の移り変わりについてお話しがありました。



有朋会理念賞表彰

今年度は、有朋会理念浸透についての取り組みがスタートした年でした。有朋会理念賞は、その年に最も理念を体現したとされる部署・チームに理事長賞、個人に院長賞がそれぞれ贈られます。

●理事長賞

【受賞】地域医療連携課
【受賞理由】社会的に課題とされている妊産婦のメンタルヘルス対策について、いち早く支援の体制を構築し、サービス提供につなげた。これは「医療・介護・福祉を統合した高品質のサービス



を設計・開発し続けている」という理念実現の姿である。

●院長賞

【受賞】白田勇輝(小規模多機能ホーム)
【受賞理由】地域で行われる会議や行事に積極的に参加され、地域の皆様の笑顔も大切にされている。これは有朋会の理念にある「あらゆる方々のところに、温かな(ホットな)灯りをともすこと」を体現した有朋会職員の模範とすべきところである。



初めての開催となった職員総会は、なるべく多くの職員に直接お伝えできるよう平日に診療をお休みして行われました。有朋会の進む方向性や今後の方針など、職員一人ひとりが改めて理解して考える事のできる重要な時間になった事と思います。また一年後に一回り成長した皆さんとこうした職員総会が開催できる事を期待しております。



2019年度入社式

4月1日(月)、15名の職員が新たに有朋会に入職されました。入社式では、理事長・院長より激励の言葉とともに、有朋会のビジョンや想いが伝えられ、新入職員一人ひとりに辞令が手渡されました。新入職員代表者の挨拶は作業療法士の室井さんよりいただき、社会人として、そして有朋会の職員として働いていく上での抱負が語られました。「こころの未来を創造する」という有朋会のビジョンに向けて、新たな仲間と共に有朋会はさらに進んでまいります。



新入職員コメント

○作業療法課 配属

作業療法士 野沢舞

私が感じた有朋会の魅力は、患者様を中心とした一つのチームとしての連携が強いこと、スタッフ間のコミュニケーションが密接であることです。スタッフ同士が感謝の気持ちを伝える「HOTカード活動」や、スタッフ間の交流を目的とした「とつぴくりん活動」といった、自然とコミュニケーションが生まれる活動が積極的に行われていることが、こ

れらの魅力に繋がっているように感じました。作業療法士として様々なことを学び、成長していくよう努め、患者様に寄り添い、その方らしい安心した生活を送ることができるよう関わりをしていきたいと思っています。また、有朋会の一員という自覚を持ち、笑顔絶やさず日々精進していきますので、よろしくお願ひ致します。



○臨床心理課 配属

心理士 茂木麻里英

私は、患者様の現在だけでなく、今までどのよう生きてこられたのか、この先どのように生きていかれるのかという点にも目を向けて、職員全体で患者様の深い理解に努めているところが有朋会の魅力であると感じています。有朋会の一員として、私はどうしたら患者様のお力になれるのかを常に考えながら行動したいと思っています。不慣れで至らぬ所も多々あるかと思いますが、早く仕事を覚え、貢献できるよう精進していく所存です。ご指導のほど、よろしくお願ひいたします。



○自立訓練事業所くりの実 配属

精神保健福祉士 四家 瑛野汰

私の感じる有朋会の魅力は、患者様や利用者様だけでなく、職員の方々も業務に取り組まれる中で自然と笑顔が溢れている点だと思います。私がこのように感じたのは就職活動の一環として栗田病院の見学をさせて頂いた際です。初めての病院見学に緊張

していた私に対して、とても丁寧に対応をしてくださいました。施設案内では、どの病棟や施設へ伺う際にも職員同士が笑顔で話をされており、私も同じ有朋会の職員として働きたいと感じたことを今でも鮮明に覚えています。私は栗田病院に入職させて頂くにあたり、常に笑顔で患者様や利用者様と接することを心掛けたいと思います。まだまだ分からないことも多く、諸先輩方にはご迷惑をお掛けすることもありますが、ご指導のほどよろしくお願ひ致します。



フォーカス くりた人



相談支援事業所くりの木
精神保健福祉士 蛭田良一

当院で働く職員の声をお届けします。

配属部署での役割や活動、担当業務

栗田病院から歩いて5分ほどのグループホーム内にある相談支援事業所くりの木で相談支援専門員として勤務しています。障害のある方の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けたケアマネジメントを業務としています。那珂市を中心とした隣接市町村の精神障害者の方を対象としています。

現在は2名の相談支援専門員を配置し、およそ150名の利用者様と契約しています。

主に総合福祉法の福祉サービスを利用するための計画を立てます。例えばグループホームや就労支援、生活訓練、ショートステイ、ホームヘルパーなどがあります。利用者様のニーズに応じて他の社会資源も提案します。例えば医療サービスの訪問看護やデイケア、社会福祉協議会の金銭管理、福祉有償運送サービスなどがあります。

利用者様との関わり、心がけている事など

利用者様が安心してサービスを利用できるように、サービス利用までの流れや内容を説明し、利用者様の希望を聞きながら計画書を一緒に作成することを心がけています。

課題に目を向けがちになってしまおうと支援者側の提案が多い計画になってしまい、利用者様が置いて

けぼりになってしまっていることがあります。利用者様が主体的に取り組めるように、ご本人の言葉や想いを尊重し、大切にしたいことを計画に組み入れられるよう工夫しています。

やりがいを感じる時

ご利用者様本人が希望する生活に近づけたことが、自分事のようにうれしいです。不安そうな顔で相談されていた方が、笑顔になったり、自信のある顔つきに変わることがあります。そういった場面に立ち会えると、少しかもしれません、力になれたかなと感じられます。

法人内外を問わずいろいろな方と連携する事が増えたので、幅広い視野や視点で業務に取り組むようになりました。多くのの方の考えに刺激を受けて自分の知識にもプラスになっていく事もやりがいの一つです。

利用者様との関係構築も大切ですが、連携する方とも顔の見える関係を作り、利用者様の自己実現に向け、協同して取り組むことにやりがいを感じます。

他職種・関係機関との連携・繋がり

利用するサービスをコーディネートしてプランを立てるので、それぞれの医療機関や障害福祉事業所、介護保険事業所、行政などの関係機関と調整を図っています。

前述のとおり、いろいろな方と連携をとる機会が多く、市内の協議会などに参加する機会もあり、お互い顔なじみになり、情報交換することもあります。知り合った方々と信頼関係をもってネットワークを広げていくことも大切なことだと考えています。お互いが力を貸し合い、尊敬しあえることで、成長できると思っています。



広報散歩

今回インタビューを行ったのは、当法人の介護事業部門にある「小規模多機能型居宅介護（以下、小規模多機能ホーム）」と「認知症対応型共同生活介護（以下、認知症グループホーム）」です。いずれも介護保険サービスの中の地域密着型サービスに位置付けられており、地域で認知症介護を必要とされている方の笑顔を増やすお手伝いをしています。今回は、この2つの施設の責任者である寺門さんにお話を伺いました。

『小規模多機能ホーム』

部署・スタッフの紹介

小規模多機能ホームのスタッフは、介護に従事して数年から数十年と経験年数は様々で、専属のケアマネジャーも在籍しています。スタッフ一人ひとりが、その人のために何をし、てあげられるかを最優先に考え、親身に支援しています。入居者様が悩み事を話し易い環境を整えて、スタッフと入居者様の関係性をよりよく保てるよう心がけています。些細な事でも気づき支援できる、そんな優しいスタッフが揃っています。施設は栗田病院の目の前にあり、あとに紹介する認知症グループホームと併設されている事で、病院や他機能の施設と協力してサービスの提供を行う事が可能です。

施設機能・役割・コンセプト

小規模多機能ホームでは、通い・泊まり・訪問の3つのサービスを柔軟に組み合わせる事により、ご利用者様やご家族様の多様なニーズにお応えし、現在の状態をなるべく維持し、できるだけ長く在宅生活を続けていただけるよう支援しています。日中の通いを中心に、通いのない日はご自宅に訪問し、ご本人様の様子を確認したり、時には希望に応じてお泊まりも利用できます。皆さんがよく知っているデイサービスとの違いは、前述のように多様性があるだけでなく、3つのサービスを一つの施設で提供しているので、サービスによりスタッフが変わってしまうことはありません。



現在力を入れている取り組み

いつもの馴染みのスタッフが関わることで、利用者様の不安や緊張を軽減し、様々な支援・サービスを導入できることにあります。途切れる事のないサービス・関係性が維持できます。

利用者様の身体状況や認知症状に合わせてではありませんが、地域に出ていろいろな体験をしていただく事に力を入れています。ご家族様のお仕事の都合やご本人の状態からなかなか外出する事ができないとよくお聞きします。そういった方のために、外食したり、地域の行事に参加したり、ごみ拾いをして地域の方と交流を図ったりと、自宅や施設の外でも刺激を得ていただくような取り組みを行っています。その他に、外出だけでなく施設内で季節に合わせたイベントやボランティア様の力を借りた活動など、普段の生活をより充実したものとしていただくための工夫もしています。これらの取り組みを通して、利用者様の意欲向上を目指しています。

今後の目標・展望

地域密着型のサービスとして、地域の一員として、地域に貢献できるような施設でありたいと思っています。認知症や介護にお悩みの方が、介護サービスの在り方や利用方法、それぞれにあったサービスが利用できるように、相談・援助等も含めて困っている方へ手を差し伸べて頼られる存在になりたいです。この地域に小規模多機能ホームがあつて良かったと思われる様な施設になっていきたいです。

『認知症グループホーム』

部署・スタッフの紹介

認知症グループホームのスタッフは、認知症介護実践者研修を修了した者が多数在籍し、小規模多機能ホームと同様、経験年数の長い方から若手のスタッフと多岐に渡ります。1人ひとりが認知症高齢者の為に自立できるように支援しています。強制することなく、入居者様のお話を傾聴し、寄り添い、出来るだけご本人の意向が叶うように日々の業務にあたっています。

施設機能・役割・コンセプト

認知症グループホームは、まず認知症と診断を受けている方を対象として、65歳以上であり介護保険の要支援2、ま

精神保健福祉士を目指したキツカケ

学生の頃に精神障害者施設でパソコン教室をする機会がありました。思い返すとパソコンを教えるよりも、身の上話や趣味の話が中心だった気がします。病気のことを話してくれた時に精神疾患や精神科病院のことを初めて知りました。分からないことだらけで好奇心から精神保健福祉士の勉強をはじめたことがきっかけです。病院・地域で実習をし、社会・日常生活に困難がある中でも、その人らしい生き方を支援する精神保健福祉士にやりがいを感じ、この分野で仕事をしたいと思うようになりました。



仕事をする中で悩むこともあります。今の職場は多くの精神保健福祉士がおり、困った時に意見をもらえたり、気軽に相談できることが何よりありがたいです。

これからの目標

地域の協議会に出席させてもらう機会が増えたので、地域の課題を共有したり、必要とされる資源を生み出せるように、関係者や行政と協力する関係を築き、地域作りが出来るようになりたいです。

昨年から実習指導の担当になったので、これから精神保健福祉士を目指す実習生に対して、関心が深まり、やりがいを感じられるような実習が送れるように環境作りをしていきたいと思っています。

家庭では妻と連携して、子育てをしている最中です。趣味で始めた昨年仕込んだ味噌がどうなるか楽しみです。仕事とプライベートのバランスをとりながら、どちらも楽しんで取り組んでいきたいと思っています。

たは要介護1から要介護5までの認定を受けている方、施設のある市区町村に住民票がある方、これらの条件を満たした方が入居できる施設となっています。特に後者は地域密着型サービスの特徴となっています。少人数でアットホームなためご自宅に近い環境で生活できるだけでなく、同年代の入居者様やスタッフなど、常に人と関わりながら生活する事ができるので、高齢者の方にがちな独居で寂しいといったお悩みに応える事ができます。炊事・洗濯・掃除などの日常生活に必要な家事においてはスタッフがご本人の自立度に応じてお手伝いいたします。一方で、身体状況の悪化により医療依存度が高くなつくと施設での生活が困難になつてしまったり、入居者様同士のトラブルやプライバシー保護など、共同生活ならではの問題もあるのが実状です。

力を入れている取り組み

1ユニット9名という小規模定員である事、現在の入居者様に身体的なお悩みが少ない事で、外食やドライブなど地域に出かける取り組みに力を入れています。地域に積極的に出かける事で、世の中の変化や人との関わりを直接肌で感じていただいています。施設内にあるウッドデッキや中庭に出て身体機能維持を目的とした歩行訓練を行ったり、外気に触れる事で生活にメリハリをつけていただく事も意識しています。

今後の目標・展望

常日頃意識的に行っている事ではありませんが、サービスにおいての無駄を省く事をこれからも意識していきたいです。たとえばおむつの使用に関して、少し時間はかかると思いますが、トイレへの誘導を繰り返して行い、必要な時以外はおむつを外して自立した生活が送れるよう、機能回復を目指していきたいです。これが結果として、無駄を省くこと、つまり介護負担の軽減につながると思っています。その為に日々の様子観察やスタッフ同士の情報交換に、より一層力を入れていきます。他にも、併設している小規模多機能ホームと連動しながら、地域に赴き地域の方と連携し信頼されている、地域の一員である認知症グループホームでありたいと思っています。



診療案内

外来担当医一覧表

	診察室	月	火	水	木	金	土
午 前	1 診	栗田	疋田	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	安部	高橋	堤	木滝	堀	第3・5週 吉川
	3 診	堤	早坂	木滝	翠川	疋田	高橋
	5 診		垣本			井出	翠川
午 後	1 診	栗田	田中	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	安部	高橋	木滝	木滝		第2週 鈴木
	3 診		早坂	竹下	垣本		
	5 診	大津					

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。

2. 次にケースワーカー（相談員）が詳しい話を伺い、その後ご予約をお取りします。

※現在他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要になります。

※当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

■ = 内科

〈午前の部〉 受付時間 8:30 ~ 11:30 / 診察時間 9:00 ~
 〈午後の部〉 11:31 ~ 16:00 / 13:30 ~

*精神科外来は完全予約制になります。
 *当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。
 予約電話対応時間 月～土（祝日を除く）9:00～17:00 TEL.029-298-0175

関連施設

地域生活支援事業部

障害福祉サービス事業所 自立訓練（生活訓練） ショートステイ

「くりの実」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505 TEL.029-295-1834 FAX.029-353-2223

障害福祉サービス事業所 グループホームくりの木

「第1くりの木」「第2くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7652

「第3くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7680 FAX.029-295-7681

「くりあん」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3429-2 TEL.029-231-2280 FAX.029-231-2281

就労継続支援B型事業所

KURITAワークサポートセンター

「Work-Work」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3923-5 TEL.029-231-7066 FAX.029-231-7067

認知症デイサービス

「クリクリ瓜連」 〒319-2103 茨城県那珂市中里1365-7 TEL.029-270-9550 FAX.029-270-9558

「クリクリ住吉」 〒310-0844 茨城県水戸市住吉町20-6 TEL.029-248-1001 FAX.029-248-0215

「クリクリ市毛」 〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛上坪1186-2 TEL.029-275-0262 FAX.029-275-0263

「クリクリ金上」 〒311-0022 茨城県ひたちなか市金上1031-1 TEL.029-271-1607 FAX.029-271-1608

小規模多機能型居宅介護施設・認知症グループホーム

小規模多機能ホーム「クリクリ」・認知症グループホーム「クリクリ」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰140-17 TEL.029-352-0016 FAX.029-298-7750

認知症グループホーム「クリクリ田彦」

〒312-0063 茨城県ひたちなか市田彦950-48 TEL.029-275-8701 FAX.029-275-8702

認知症疾患事業部

アクセスマップ

